

社会福祉法人すずかけの会

令和 6 年度事業報告書

1 理事会・評議員会の開催及び監事監査・指導検査の実施、許認可等

(1) 理事会の開催

第 1 回理事会 6 月 1 日(土)	出席 7 名 欠席 0 名 監事出席 2 名	第 1 号議案	令和 5 年度事業報告
		第 2 号議案	令和 5 年度決算報告 (社会福祉充実計画について)
		第 3 号議案	令和 5 年度監事監査報告
		第 4 号議案	給与規程の改正
		第 5 号議案	経理規程の改正
		第 6 号議案	第 1 回定時評議員会の招集事項
		第 7 号議案	役員等賠償責任保険契約について
		報告事項	理事長の職務執行状況について
第 2 回理事会 3 月 1 日(土)	出席 7 名 欠席 0 名 監事出席 2 名	第 1 号議案	令和 6 年度最終補正予算
		第 2 号議案	令和 7 年度事業計画
		第 3 号議案	令和 7 年度当初予算
		第 4 号議案	第 2 回評議員会の招集事項について
		第 5 号議案	就業規則、給与規程の改正
		第 6 号議案	評議員選任・解任委員の選任
		報告事項 1	ひまわり運営指導報告
		報告事項 2	理事長の職務執行状況等について

(2) 評議員会の開催

第 1 回 定時評議員会 6 月 16 日(日)	出席 7 名 欠席 1 名 監事出席 1 名	第 1 号議案	令和 5 年度事業報告
		第 2 号議案	令和 5 年度決算報告 (社会福祉充実計画について)
		第 3 号議案	令和 5 年度監事監査報告
		報告事項	諸報告

第2回 評議員会 3月16日(日)	出席7名 欠席1名 監事出席2名	第1号議案	令和6年度最終補正予算
		第2号議案	令和7年度事業計画
		第3号議案	令和7年度当初予算
		報告事項1	ひまわり運営指導報告
		報告事項2	諸報告

(3) 監査の実施

監事名	監査実施日	監査項目
松嶋監事 横尾監事	令和6年5月21日	定款第18条第1項の規定に基づき、令和5年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況

(4) 法人指導監査の実施

監査実施日	監査機関	改善を要する事項
令和6年11月13日	東京都 日野市	ひまわりへの実施指導検査 令和7年1月9日改善状況報告書提出

(5) 許認可等

許認可日・指定年月日	所轄庁	内 容

2 事業経営

事業種別	令和6年4月～令和7年3月
第2種社会福祉事業	1. 障害福祉サービス事業（生活介護） すずかけの家（定員20名） ふらっと・すずかけ（定員20名） 2. 障害福祉サービス事業（共同生活援助） ひまわり（定員5名）

3 施設利用状況

(1) 生活介護

(すずかけの家)

	開所日数	延出席数	延欠席数	1日平均 利用者数	出席率
4月	21	355	23	16.9	93.9%
5月	21	360	18	17.1	95.2%
6月	20	350	10	17.5	97.2%
7月	22	344	52	15.6	86.9%
8月	18	270	54	15.0	83.3%
9月	19	295	47	15.5	86.3%
10月	22	353	43	16.0	89.1%
11月	20	339	21	17.0	94.2%
12月	20	336	24	16.8	93.3%
1月	19	325	17	17.1	95.0%
2月	18	307	17	17.1	94.8%
3月	19	319	23	16.8	93.3%
計	239	3953	349	16.5	91.9%

(ふらっと・すずかけ)

	開所日数	延出席数	延欠席数	1日平均 利用者数	出席率
4月	21	257	16	12.2	94.1%
5月	21	267	6	12.7	97.8%
6月	20	251	9	12.6	96.5%
7月	22	278	8	12.6	97.2%
8月	18	229	5	12.7	97.9%
9月	19	238	9	12.5	96.4%
10月	22	278	8	12.6	97.2%
11月	20	248	12	12.4	95.4%
12月	20	250	10	12.5	96.2%
1月	19	227	20	11.9	91.9%
2月	18	220	14	12.2	94.0%
3月	19	232	15	12.2	93.9%
計	239	2975	132	12.4	95.7%

○障害支援区分別利用状況（すずかけの家）

平均障害支援区分：5.7（単位 人）

支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分4	21	20	20	19	0	0	0	0	0	0	0	0	80
区分5	97	100	97	93	77	91	103	95	95	91	86	84	1109
区分6	237	240	233	232	193	204	250	244	241	234	221	235	2764
計	355	360	350	344	270	295	353	339	336	325	307	319	3953

○障害支援区分別利用状況（ふらっと・すずかけ）

平均障害支援区分：5.3（単位 人）

支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分4	38	41	35	41	35	37	39	35	39	34	34	18	426
区分5	116	124	117	110	88	95	109	100	98	89	83	108	1237
区分6	103	102	99	127	106	106	130	113	113	104	103	106	1312
計	257	267	251	278	229	238	278	248	250	227	220	232	2975

（2）共同生活援助（ひまわり）

○障害支援区分別利用状況

平均障害支援区分：5.8（単位 人）

支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分4	21	20	20	18	0	0	0	0	0	0	0	0	79
区分5	24	24	25	22	15	19	21	20	20	19	19	20	248
区分6	70	71	70	65	70	81	93	91	88	88	91	112	990
計	115	115	115	105	85	100	114	111	108	107	110	132	1317

4 健康管理業務

（1）医療体制

○すずかけの家嘱託医：日野台診療所

○ひまわり嘱託医：日野台診療所

○ふらっと・すずかけ嘱託医：日野台診療所

（2）健康管理

○年1回の健康診断の実施（※ひまわり夜勤者は年2回）

○年2回の聴打診の実施

○年1回のインフルエンザ予防接種の実施

○看護師による健康管理・指導

○定時薬・臨時薬の準備と保管及び服用管理

○栄養士（津山商店）による食事管理

5 防災対策

(1) BCP計画に基づく防災訓練

○すずかけの家

実施日	訓練内容	備考
9月13日	避難訓練	火災想定訓練
3月6日	避難訓練	地震・火災想定訓練

○ふらっと・すずかけ

実施日	訓練内容	備考
6月28日	避難訓練 防災体験	火災想定訓練（施設） 各種災害想定体験（立川防災館）
10月30日	避難訓練	地震想定訓練
3月24日	避難訓練	火災想定訓練

○ひまわり

実施日	訓練内容	備考
5月21日	自衛消防訓練	2階非常口開錠訓練
3月17日	自衛消防訓練 自然災害BCPに基づく訓練	ラインワークスにて 安否確認及び招集訓練

6 職員配置状況

(1) すずかけの家

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サビ管	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
支援員	常勤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	5	5
	非常勤	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
常勤計		8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	8	8
非常勤計		2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4
合 計		10	10	10	10	10	10	11	11	11	12	12	12

(2) ひまわり

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常勤 (兼務)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サビ管	常勤 (兼務)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
世話人	常勤 (兼務)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
支援員	常勤 (兼務)	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3
	非常勤	6	6	6	6	6	6	6	6	8	7	7	8
常勤計		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
非常勤計		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
合 計		9	9	9	9	9	9	9	9	11	10	11	12

(3) ふらっと・すずかけ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サビ管	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
支援員	常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
常勤計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
非常勤計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
合 計		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

7 新規事業の準備

--	--

8 人事労務・給与制度等

人事労務管理	井澤労務管理事務所との業務委託契約
給与制度	令和6年4月1日、令和6年9月1日、令和7年3月1日 改正
職員福利厚生	- 職員福利厚生の充実のため、有期契約職員も含め、全職員の福利厚生センター（ソエルクラブ）への加入 - 職員に対する定期健康診断・聴打診及び夜勤業務職員健康診断の実施

9 職員研修・行政説明会・行政関係等

月 日	内 容	主 催 者	参加者
通年	障害者週間実行委員会	日野市	㊟井上
通年	南平地区社会福祉協議会役員会・運営委員会	南平地区社会福祉協議会	㊟大浜
通年	南平まちづくり協議体	南平まちづくり協議体	㊟大浜
通年	南平ちょこっとお助け隊会議	南平地区社会福祉協議会	㊟大浜
通年	七生中地区アクションプラン実行委員会（ななお BON まつり実行委員会）	日野市地域協働課	㊟大浜
通年	日野市施設職員交流会部会	南平地区社会福祉協議会	㊟本間 ㊟岸野
通年	日野社会福祉士会定例会	日野社会福祉士会	㊟荻原
通年	日野市障害者関係団体連絡協議会運営委員会	日野市障害者関係団体連絡協議会	㊟河田
通年	きょうされん東京支部広報出版委員会	きょうされん東京支部	㊟西尾
通年	きょうされん東京支部教育研修委員会	きょうされん東京支部	㊟大浜
通年	きょうされん東京支部組織運動委員会	きょうされん東京支部	㊟久野
通年	きょうされん東京支部区市町村代表者会議	きょうされん東京支部	㊟高橋
通年	日野市社会福祉協議会評議員会	日野市社会福祉協議会	㊟高橋
4/7	倉沢自治会総会	倉沢自治会	㊟高橋
4/14, 21, 28	知的障害者(児)のガイドヘルパー養成研修	NPO法人こげら会	㊟岸野
5/30	きょうされん国会請願行動	きょうされん東京支部	㊟久野
6/12	第41回食中毒防止安全衛生大会	津山商店グループ	㊟西尾
6/26	明星大学教育学部教育学科 保育実習課程 ゲストスピーカー	明星大学教育学部教育学科	㊟大浜
7/3	B C P施設内研修（感染症）	すずかけの家 ふらっと・すずかけ	㊟全職員 ㊟全職員
7/3	B C P施設内研修（自然災害）	すずかけの家 ふらっと・すずかけ	㊟全職員 ㊟全職員
7/3	洪水時における避難確保計画 施設内研修	すずかけの家	㊟全職員
7/16～8/12 9/2	東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	公益財団法人東京都福祉保健財団	㊟藤原
7/22	B C P施設内研修（感染症）	ひまわり	㊟全職員

7/24 2/18	日野市グループホーム事業者連絡会	日野市	㊦ 高橋 ㊦ 相川
8/2, 9/6	三年目職員研修	東社協知的発達障害部会	㊦ 河田
8/21	令和6年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	公益財団法人東京都福祉保健財団	㊦ 相川
8/23	富士電機コミュニティフェスティバル	日野わーく・わーく	㊦ 大浜
8/25 1/26 2/24 3/16	J D F 能登半島地震支援センターへ派遣	日本障害フォーラム (きょうされん)	㊦ 西尾 ㊦ 岸野 ㊦ 高橋 ㊦ 河田
8/29	日野市地域自立支援協議会 就労支援部会	日野市地域自立支援協議会 就労支援部会	㊦ 大浜
8/31	ななお BON まつり	ななお BON まつり実行委員会	㊦ 大浜
9/6	令和6年度第1回サービス管理責任者 基礎研修	公益財団法人総合健康推進財団	㊦ 相川
9/17	令和6年度強度行動障害支援者養成研 修(基礎研修)	公益財団法人東京都福祉保健財団	㊦ 長尾
9/30	虐待防止及び身体拘束適正化 施設内研修	ひまわり	㊦ 全職員
10/3	防災担当者交流会	日野市社会福祉法人ネットワ ーク	㊦ 大浜
10/29	七生特別支援学校 学校公開	七生特別支援学校	㊦ 本間
11/9	すずかけ祭	すずかけの会 後援会	㊦ ㊦ 全職員
11/13 他	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	東京都福祉保健財団	㊦ 本間
11/25	令和6年度障害者グループホーム従事 者人材育成支援事業「第3回障害者グ ループホーム従事者基礎研修」	公益財団法人総合健康推進財団	㊦ 高橋
12/3.4	中堅職員研修	東京都福祉人材センター	㊦ 久野
12/13	安全運転管理者講習	東京都公安委員会	㊦ 大浜
1/15 他	指定障害福祉サービス事業者集団指導	東京都福祉保健局	㊦ 大浜 ㊦ 井上 ㊦ 高橋
1/17	意思決定支援(支援付き意思決定)にむけて 現場の支援で知っておきたいこと	東社協知的発達障害部会	㊦ 岸野
1/24	福祉職のための精神医学	日野市社会福祉協議会	㊦ 西尾
1/31	きょうされん東京支部 署名学習会	きょうされん東京支部	㊦ 久野
2/5	令和6年度日野市グループホーム従事	日野市	㊦ 相馬

	者虐待防止研修		
2/6	令和6年度強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	公益財団法人東京都福祉保健財団	㊦ 高橋
2/6	日野市福祉事業所連絡会	七生特別支援学校	㊦ 大浜
2/15	上級救命講習	東京消防庁	㊦ 岡和田
2/19	虐待防止・権利擁護施設内研修	すずかけの家 ふらっと・すずかけ	㊦ ㊧ 全職員
2/27・28	福祉職員キャリアパス対応障害研修 中堅職員研修	東京都福祉人材センター研修室	㊧ 河田
3/17	B C P 施設内研修（自然災害）	ひまわり	㊦ 全職員

10 諸会議の開催

会 議 名		開 催 月 等
法人事務局会議		毎月1回実施
虐待防止委員会 身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会		3/26
すずかけの家	職員会議	毎月1回実施（ふらっと・すずかけと合同）
	ケース会議	5/1・6/5・7/3・8/7・9/4・12/4・12/18・2/5
	すずかけ会議	10/30
	感染対策委員会	7/3
	給食会議	毎月1回実施
ひまわり	職員会議	毎月1回実施（※1月は未実施）
	ケース会議	毎月1回実施（職員会議内での実施）
	感染対策委員会	7/22
ふらっと・すずかけ	職員会議	毎月1回実施（すずかけの家と合同）
	石けん作業会議	
	感染対策委員会	7/3
	ケース会議	6/5・8/7
	給食会議	毎月1回実施

1 1 財務・事務管理

情報公開	当法人の情報公開開示規程を遵守しつつ、年3回（6月、10月、2月）、機関紙「すずかけ」を発行
個人情報保護と共有	当法人の個人情報保護規程に基づき、利用者等関係者の個人情報保護に努めた。
苦情対応	当法人の苦情対応規程に基づき、利用者等の苦情に迅速に対応した。
業務の効率化・コスト削減	光熱水費をはじめ、コスト削減に努めた。
契約の公正・透明性の確保	経理規程に基づき、競争入札のほか、随意契約についても原則相見積もりを励行した。
事務管理の適正化	経理規程、文書管理規程に基づき事務を実施。
第三者評価	令和5年度にすずかけの家、ふらっと・すずかけ、ひまわりで受審。

すずかけの家

令和6年度事業報告書

1. 事業内容

1) 目的

- ・コロナ禍以前の行事や、日々の活動を少しずつ再開し、外での作業、活動、行事を増やせた。
- ・概ね目的に沿った支援ができた。

2) 基本方針

- ・基本方針に沿った支援、業務に努めた。
- ・引き続き安心、安全な環境づくりに努めた。
- ・すずかけ祭りでは販売員や買い物で利用者も参加し、地域の方とふれあう場面を設けられた。また、活動紹介動画や紙漉き作業体験を通して、地域の方にすずかけの家の活動を知ってもらえる良い機会となった。

3) 活動日と活動時間

- ・今年度より活動時間を月、火、水（第2、第4）、木、金曜日を9時30分から16時。水曜日（第1、第2、第3）を9時30分から14時とした。

2. 支援内容

1) 生活支援

- ・事業計画、個別支援計画に沿って支援を行った。

① 衣服の着脱・身だしなみ

- ・身だしなみについては、言葉かけや直接支援ですぐ直せる様に支援を行ったが、腰回りのシャツが出ている時なども見られるので、引き続き気を付けていく。
- ・季節に応じた衣服を着用する支援ができていた。引き続き家庭、GHと連携して衣服の調整を行っていく。

② 排泄

- ・個々人に合わせた排泄支援については、職員間で連携を取り合い良く行えていた。
- ・ホワイトボードを活用するなどして排せつ時間や回数などを職員間で情報共有でき、支援の連携がしっかり行えた。
- ・ケアパンツ使用の利用者もトイレでの排泄が定着するように、引き続き定期的なトイレ誘導を行っていく。
- ・引き続きトイレをきれいに使用できるように支援を行う。

③ 食事

- ・個々人に合わせた食事形態での提供、支援をおこなった。
- ・完食できる利用者が多く、残食が少なかった。

- ・体調が悪い人は別室で食事提供を行い、感染症予防に努めた。
- ・楽しく食事が出来るように支援を心がけた。

④ 清潔

- ・引き続き手洗い、消毒などを行い清潔に努めた。
- ・毎日の掃除、消毒により清潔を保った。

⑤ マナー・ことば

- ・対等な関係を意識して、言葉かけ、コミュニケーションに努めた。
- ・丁寧な言葉を意識して伝えられていたので、引き続き意識していく。
- ・雑な言葉かけ、言葉遣いが見受けられる時もあるので注意していく。

⑥ 日直

- ・日直の役割が果たせるように、仕事内容を伝えながら取り組んだ。
- ・新たに昼食後のマスクケースの回収が追加され、活躍の機会が増えた。
- ・日直の仕事を楽しみにし、意識して取り組んでいる利用者もいる。
- ・日直の仕事を通して「ありがとう」と伝える場面を増やし、意識することで利用者の表情も良いことが多かった。

2) 作業支援

① 紙漉き製品作り（ハガキ・名刺・しおり等）

- ・作業工程が多いので、個々人に合わせて活躍できる工程を見つけやすく、利用者全員が取り組むことができた。
- ・1回の作業目標である20枚作製を達成できていることが多く、在庫が切れることがなかった。
- ・紙製品の売れ行きは好調で、受注も多かった。
- ・室内作業の中心的存在だった。
- ・担当職員が管理し、在庫が切れることなく取り組めた。
- ・準備から片付けまでしっかり取り組める利用者も多い。

② 袋詰め（銀のさら）

- ・個々人に合わせた支援を心がけて、作業に取り組んだ。
- ・納品まで無理のないペースで取り組むことができた。
- ・作業参加ができる人の幅を広げるため、職員体制や補助具などの工夫を引き続き行っていく。

③ 畑（園芸）

- ・担当職員を中心に、良く畑の管理ができていた。
- ・収穫では利用者も楽しんで参加できた。
- ・収穫以外でも利用者が活躍できる場面を増やせるように工夫をしていく。
- ・外で体を動かし、土に触れる体験ができる貴重な作業となっている。
- ・夏の猛暑で、夏野菜の育ちが悪かった。

- ・昨年度、植えた。長ネギやタマネギは、育ちが良く、春先の保護者会や後援会の会議での販売ができた。
- ・今年度は、売上から備品を購入した、結果的にはプラスにはなったが、夏野菜が育たなく、売り上げが伸びず、野菜を販売できない保護者会もあった。
- ・現在育てている（タマネギ、長ネギ）が伸びれば、また春先の販売につながる。

④教材の仕分け

- ・個々人のペースに合わせて取り組める作業で、楽しみにしている利用者もいる。
- ・雨天時でも全員が取り組みやすい貴重な作業となっている。
- ・今年度は納品数が少なく、早い時期に仕分けを完了してしまった。
- ・仕分けた教材を下田商店に捨てに行く流れも円滑に取り組んでいた。

⑤ポスティング（ビルドコンサルテーション）

- ・担当職員が中心となり、天候や季節に合わせて作業の受注数を調整したことにより、過度な無理なく取り組むことができた。
- ・年齢を重ねて、足元の不安定さや、体力面で心配なっている利用者が増えてきた。
- ・体力面などで出来る利用者は限られるが、良い運動にもなり、達成感がかんじられる。
- ・南平2丁目と範囲が限られているので、見通しが持ちやすく取り組みやすかった。

⑥竹パウダー詰め

- ・夏場は日陰で取り組む、作業室1を使用するなどして工夫をした。
- ・風が強い日は材料が宙を舞い、作業が大変だった。
- ・個々人のペースで取り組みやすく、上手に袋に詰める利用者が増えた。
- ・担当職員がふらっと・すずかけの担当職員と連携をとって作業の調整をした。
- ・目標達成数の1作業20袋以上を詰めることができた。

⑦日野市創出事業

- ・切手、封筒処理を中心に受注を受けた。
- ・切手のきりとりが上手な利用者があり、活躍している。
- ・作業単価がよいので、工賃収入に繋がっている。
- ・千羽鶴は見通しを持ちにくい作業ではあるが、受け取りや納品で外部の人と関われる良い機会であり、今年度は展示している場所も見に行くことができた。
- ・作業マニュアルを引き続き工夫し、工程を進めやすくしていく。
- ・利用者の関われる工程を増やせるように工夫をしていく。

⑧株式会社こんの資源回収

- ・利用者が外に出て作業をする良い活動となっている。
- ・回収場所の状況によって、職員が中心となって運ぶことが多い時もあった、今後利用者が主体的に参加できるように支援方法を工夫していく。
- ・暑さの厳しい8月、9月はお休みをした。
- ・10月から回収先の資源の少なさを補う為に、毎月運賃補助金 2,200 円を補助していただける事になった。

- ・昨年度反省で1日の作業でのガソリン消費量考えると、月に6000円以上の工賃が出ないと赤字であるとしたが、昨年1月から今年3月までの月平均収入は9,053円だった。

⑨わーく・わーく受注ポスティング（からだ元気治療院）

- ・配布期限が1か月なので作業の調整がしやすく、無理なく取り組んでいる。
- ・種類が1種類なので取り組みやすい。
- ・外で体を動かす良い機会となっている。
- ・ビルドコンサルテーションとのポスティングと合わせて配る事もあり、その際はスケジュールが厳しくなる時もあった。

⑨ 資源回収

- ・資源の回収、倉庫への保管、下田商店への運搬の流れを、担当職員を中心としてよく取り組んでいた。
- ・保護者、関係者の方から引き続き持ち込み資源のご協力が得られた。

⑩各作業実績

	令和6年度目標	令和6年度達成
紙漉き製品	紙製品：2,000円/月×12ヶ月=24,000円 名刺：1,000円/月×12ヶ月=12,000円 作成目標：紙漉き作業一コマにつき20枚作成	紙製品売り上げ 35,000円 名刺売り上げ 13,000円 売り上げ合計 48,000円 作成目標：達成できている。
袋詰め	豊田八王子店 1ヵ月に2回納品 毎月の受注数：1ヵ月25袋、1～5人前 5袋 繁忙期の受注数：1ヵ月50袋、1～5人前 10袋ずつ	受注豊田八王子店のみ 毎月の受注 1～5人前を5袋ずつ。 繁忙期 1～5人前を10袋ずつ。 年間工賃44,400円
畑（園芸）	夏野菜（ピーマン、ナス、オクラ、ゴーヤ、大葉等） 冬野菜（玉ねぎ、レタス、ネギ等） ①土作り・整地(9月～11月)②種まき(11月～12月)③収穫(翌4月～6月) 売り上げ目標：30,000円	夏野菜（ピーマン、ナス、オクラ、ゴーヤ、ミニトマト、大葉等）冬野菜（玉ねぎ、ネギ等） 令和6年度売上7,664円
ポスティング	1回の受注数：1,200枚/3～4種類（売り上げ4,000円） 作業目標：1ヵ月12,000円	7月、8月は猛暑のため休み 年間工賃48,945円 1ヵ月平均6,118円
わーく・わーく受注ポスティング	1ヶ月の受注数：1種3,000枚 目標：10,500円（1枚3.5円）	1回の受注数3000枚/1種類 受注月4.6.3月 年間工賃31,500円
竹パウダー詰め	作業1コマにおける作成目標：15袋（変動あり）	作業1コマで20袋以上達成できている。
資源回収	令和5年11月より再開。第2、3、4火曜日に平山4丁目都営アパートの資源回収を行う。	平山4丁目都営アパート回収 持ち込み資源の回収 現金収入（アルミ缶）12,400円 年間工賃（奨励費）86,170円

株式会社こんの 資源回収	毎週木曜日 ダンボール、雑誌、シュレッダーゴミ等の回収。 単価 5 円/kg 目標：午前中 120 kg回収、午後 120 kg回収 1 日の作業工賃 1,200 円	年間作業工賃 104,500 円 運賃補助金（10 月から月 2,200 円補助 13,200 円 作業収入 合計 117,700 円 1 日の平均作業工賃 1,898 円 8 月、9 月は猛暑の為休みをいただいた。
日野市しごと創 出事業	受注作業：封筒・切手処理、冊子づくり、千羽鶴作成 ※その他の作業依頼は内容を検討し受注していく。	年間工賃 封筒・切手処理 32,494 円 千羽鶴作成（ふらっと共同） 22,360 円
川口教材社 仕分け作業	令和 5 年度目標設定なし単価：7 円/kg 目標 10,000 円（ふらっとと合わせて）	年間工賃 8,120 円

3) 文化活動

① 音楽教室

- ・引き続き多くの利用者が楽しんで活動できていた。
- ・グループ分け、個別対応等、利用者が参加しやすい工夫がされている。
- ・個人目標、評価表の見直しを講師と相談し行っていく。

② ダンス教室

- ・多くの利用者楽しんで参加できている。
- ・身体を動かす機会が少ない方にとって、楽しんで運動ができる良い機会となっている。
- ・個々のストレッチは健康維持の為とても良い活動となっている。
- ・講師の方の個々人に合わせた対応は職員も勉強になっている。

③ 調理

- ・今年度 1 月からおやつ作りとして再開し、午前中にメニューを決め買い出しに行き、午後の活動時間で調理を行った。
- ・買う、作る、食べるという一連の流れが経験でき、良い活動となっている。
- ・楽しみと食べられる喜びを感じられている利用者の方が多い。

4) 年間行事

- ・今年度もバス外出、宿泊、ハイキングなど、年間を通して行事を行うことができた。
- ・外出行事では、利用者の楽しむ様子が見られ、通常の活動とは違った表情が見られて良かった。
- ・行事を励みに、日々の活動に取り組む利用者の方もいた。
- ・ハイキングでは景色や植物を見て季節を感じられ良かった。

3. リスク管理（緊急時における対策）

1) 防災・防犯

- ・避難訓練を年2回実施することができ、避難にかかる時間も短くスムーズに行えた。
- ・滑り台が苦手な利用者の避難は職員が後ろから抱えるようにして一緒に滑ることで、滑り降りる事ができた。
- ・滑り台での避難については、引き続き研究と練習を行っていく。

2) 衛生管理

- ・利用者の嘔吐に対して、研修したことが実施できていた。
- ・手洗い消毒の励行、利用者降所後の施設内、車両の消毒を引き続き行った。
- ・衣類が汚染された際に着替えられるように、職員も着替えの予備を一式用意しておくが良い。また、シャワー室をいつでも使えるようにしてあると良い。

4. 環境の整備

1) 予算

- ・職員全体で節約の意識が持っていた。
- ・行事については予算内で収まるように企画し実施した。
- ・必要な備品については事前に報告し、計画的に購入できるように努める。
- ・引き続き節電、節水など節約に努める。

2) 支援態勢

- ・支援態勢を工夫しながら、必要な人が事務を取れるように連携した。
- ・6月中旬から8月末まで、男性職員1名が育児休暇を取得。人手が少ない時でも職員間で連携しながら、安心、安全に活動が行えるように努める事ができた。
- ・利用者5～6名に対して職員1名で支援に入っている場面が見られたので、無理に支援体制を組まないように気を付ける。
- ・人手があるときには交代で、昼食時間に事務時間が取れて良かった。
- ・職員間の支援の連携で、施設内での怪我、他害等は防げている事が多かった。
- ・日々の態勢において担当する利用者の頻度に偏りがあった。態勢決めの際は活動日誌を確認し、バランスよく支援態勢を組む事を心がける。

3) 給食

- ・献立に季節の物が入っていてよかった。
- ・終礼時に給食の感想を確認する時間を設け、津山商店（給食業者）に伝えることができた。
- ・バランスの良い献立で利用者の食べ進みも良く、残食が少なかった。
- ・個々人に合わせて二次、三次調理を行い、食べやすさと食べる量が増やせるように支援をした。

4) 健康管理

①日常の健康管理

- ・夏季の水分補給には引き続き留意し、また、年間通して昼食前の水分補給も行った。昼食前の水分補給は利用者の励みにもなっている。
- ・日々の利用者の体調に留意し、状況に応じて活動時間中にも検温を行うなど、健康、体調管理に努めた。
- ・体重測定は月に 2 回行い体重の増減を把握し、必要な利用者には運動や散歩等、意識的に取り組むことができた。
- ・感染対策に取り組み、風邪の症状や発熱、嘔吐があった利用者については部屋を分けるなどして対応した。
- ・必要に応じて看護師から助言をいただき、保護者にも助言を行った。

②その他

5) 保護者会との連携

- ・忘年会では保護者会より活動費のご寄付をいただき、ケーキやお菓子の購入費に充当させていただけたことで、充実した行事が実行できた。
- ・4月と奇数月に開催し、宿泊前には担当職員が出席し詳細の説明をした。

5. 職員

1) 職員分掌と係り分担

- ・連携して事務時間の確保に努められた。

2) 職員会議とケース会議

- ・会議は議題に沿って円滑に行えた。
- ・本年度から利用者 1 4 時降所の日が減ったので、すずかけの家職員の話し合いの機会が減ってしまった。

3) 個別支援計画とケース記録

- ・個別支援計画の策定に当たっては、利用者個々人についてしっかり話し合いができた。
- ・ケース記録未記入が時々見られるので、連絡帳を担当した職員は忘れずに記入するように意識する。

4) 研修

- ・合同ケース会議では研修を受けた職員が担当となり研修を行い、改めて学ぶことの大切さに気付くことができる良い機会となった。
- ・職員中心の内部研修は日頃話し合いの時間も限られているので、話し合いの大切さや気づき、学びも多く、日々の気づき、見直し、ふらっと・すずかけの様子も知ることが出来、良い機会となっている。

6. 関連団体との関わり

- ・相談支援事業所とのモニタリングは直接来所しての機会も増え、直接情報共有もできてよかった。
- ・個々人の状況に応じて関係者会議を開催し、関係機関と連携を行うことができた。
- ・実習については良い雰囲気での実習を提供できた。
- ・関連団体との会議は担当職員を中心に参加をし、外部との情報共有が行えた。（きょうされん・日野市施設職員交流会・南平地区社会福祉協議会・南平まちづくり協議会・日野市障害者関係団体連絡協議会・日野わーく・わーく・ななおBONまつり実行委員会等
- ・日野市施設職員交流会では他施設の見学や意見交換ができてよかった。
- ・明星大学1名、保育士の現場実習を受け入れた。
- ・都立七生特別支援学校から1名（高等部3年1名）実習を受け入れた。

令和 6 年度事業報告書

1. 事業内容

1) 目的

- ・新型コロナウイルス感染症による日常的な影響が少なくなった中で、日々の活動や外部との関わりの幅が少しずつ広がり、活動の充実に繋がっていった一年であった。

2) 基本方針

- ・利用者を大切にするという基本方針に沿った支援を行った。
- ・利用者権利擁護規程を人権綱領とし、職員研修も実施し虐待防止等に努めた。
- ・利用者に対しての言葉掛けや呼称など、礼節をもって接する様に心掛けた。
- ・個々の利用者の様子を職員全体で共有して、質の高い支援を行える様に努めた。
- ・利用者に心身等問題のあった場合には、その対処方法等の情報を職員間で共有した。
また、各家庭やグループホームに対しても、利用者が置かれている問題を改善すべく「情報の共有」や「改善に向けた連携」に努めた。
- ・コロナ禍が緩やかになってくる中で、引き続き最適な環境づくりに努めた。

3) 活動日と活動時間

- ・年度間を通して、通常時間での開所を行った。
- ・利用者の連絡事項（欠席や送迎場所変更など）は、職員間での連絡や所定の記録簿に記載をして把握漏れの無い様に務めた。
- ・令和 6 年度より第 2，第 4 水曜日が 16 時降所となったが、ダンス教室の実施等、散歩以外の活動も当てはめて、円滑に実施している。

2. 支援内容

1) 生活支援

- ・個々の状況に合わせて、個別支援計画や方針に沿った支援を行った。
- ・利用者自身が意識できるような言葉かけや具体的な方法を示すなど、職員の共通認識のもと支援を行う事ができた。

①衣服の着脱・身だしなみ

- ・季節に応じた服装を意識し、着替えに関しては、気候や個々の状況に合わせて必要に応じて支援を行った。
- ・予備の着替え補充や衣替え、ハンカチの補充など家庭やグループホームとの連絡調整に努めたが、足りない時もあり、定期的な確認が必要である。

②排泄

- ・個々人に応じた支援を行った。
- ・トイレ誘導や手洗い、後の消毒まで職員間で連携して行うことを引き続き努めた。
- ・汚れた場合は自分で拭いてもらったり、対応した職員が最後にきれいにすることも引き続き意識しながら行った。

③食事

- ・個々の状態に合わせて、食事量や二次調理などの調整をした。また、その日の状況や態勢によって、席配置も適宜調整した。
- ・楽しく食事をする事を主としつつ、必要に応じて「マナーなどを支援する食事」も心掛け、言葉かけ等支援を行った。

④清潔

- ・手洗いや消毒、共有スペース・物の消毒など感染予防と清潔を保つように引き続き非常に気を配った。
- ・外出後や活動後、食事前などの手洗いと消毒は定着している。
- ・手洗いの仕方やハンカチ・ペーパータオルの使用、拭き方などは意識してできるようになってきた利用者もいた。

⑤マナー・ことば

- ・大人らしい丁寧な言葉遣いを、出来るだけ気を付けるように心掛けた。
- ・他者との適切な関わり方（挨拶やスキンシップなど）についても意識し、日々の生活での人との関わりをより楽しめる様に努めた。
- ・日常で良く使用するマカトン法に関しては、利用者及び職員の中で浸透している。
引き続き、生活の中でマカトン法を有効に活用できる場面があれば、職員が意識して使用し、利用者の理解や表現法としての活用に努める。
- ・コミュニケーションは人と人との関わりの基本となる部分でもあり、利用者と職員間においても、互いに尊重し合う会話と言葉掛けに更に努めていけると良い。

⑥健康・体力

- ・大きく体調を崩す人もいなく、健康に過ごせていた。
- ・施設から歩いて散歩に出る機会が増え、体力作りにも繋がっている。

⑦日直

- ・日直の仕事に対しては、利用者の周知度も上がっており、積極的にやりがいを感じながら行う利用者が多い。休み時間に日直がBGMや動画を選ぶ事が出来、楽しみにしている利用者もいた。

2) 作業支援

- ・夏季の屋外作業では熱中症対策（こまめな水分補給や休憩）も行いながら、短時間での作業を主として実施した。
- ・各作業の中で得意な工程や好きな工程を見つけ、意欲的にできている。
- ・大きな怪我も無く、安全に過ごすことが出来た。
- ・計画に沿って行い、工賃を月 2,000 円支給した。
- ・限られたスペースの中で道具や材料の整頓やマニュアルの整備に努めた。
- ・雨天の為外作業が出来ない時に、作業や活動の組み立てに難儀する事があった。引き続き、安定的に行える室内作業を模索していきたい。

①教材の仕分け

- ・誰でも取り組める作業となっており、上手な利用者が多い。
- ・年々教材の量が減ってきており、日常的な作業としては実施が難しかった。

②ポスティング（チラシ配り）

- ・季節や状況に合わせて、予定している枚数を配布出来た。スケジュールに余裕があったので、市の仕事創出事業や個人依頼によるポスティングも受け入れた。

③ダンボールコンポスト

- ・配達の遅延等もほとんど無く、順調にこなせた一年であった。市民の方との関わりが持てることに、やりがいを感じる利用者もいた。
- ・竹パウダー詰めをすずかけの家が行っている中で、作業量や竹パウダーの管理、残量など細かな確認を行い、連携し年間通して安定して行えた。

④公園清掃

- ・利用者がそれぞれ得意な部分で役割を持ち、積極的に取り組んでいる。
- ・利用者の得意な部分を引き出せるよう、用具の使い方、清掃のやり方などその都度機会をとらえて支援をした。

⑤榮太樓

- ・受注先との調整を密に行う中で、シーズンごとの依頼を確実にこなす事が出来た。
- ・一定期間内で受注数が一気に増える事もあったが、作業が得意な利用者を中心に取り組むことが出来た。
- ・衛生面に配慮しながら、様々な利用者に経験してもらう機会を作った。

⑥石鹸づくり

- ・固形せっけんは特定の機関より一定した材料（廃油）を頂く流れが出来た事で、安定した製品作りができている。今後は色付けや形等、先の目標設定が必要な時期である。

⑦日野市仕事創出事業

- ・基本で受けている作業に加えて、期間限定の作業もあり、年間全体でのバランスも良く作業が出来た。利用者が地域と繋がる機会も増えている。
- ・地道な作業で全員参加出来る作業はまだ少ないが、手先の器用な利用者にとってはやりがいのある作業となっている。

⑧各作業実績

	目 標	実 績
石けん作り	販売目標：固形・液体共に 50 個／年 固形 150 円×50 個＝7,500 円 液体 250 円×50 本＝12,500 円	固形 150 円×54 個＝ 8,100 円 液体 250 円×52 個＝ 13,000 円
ポスティング	毎月の配布目標枚数：2100 枚以上。	4 月 2,198 枚、5 月 2,173 枚、6 月 2,113 枚 7 月 1,643 枚、8 月 1,271 枚、9 月 1,933 枚 10 月 1,269 枚、11 月 1,927 枚、12 月 2,337 枚、 1 月 2,441 枚、2 月 2,138 枚、3 月 2,119 枚
栄太樓	1 納期の受注数：夏期(8 月)900 個、 冬期(10～12 月)900 個	7 月 0 個、8 月 600 個、9 月 1,400 個 10 月 1,600 個、11 月 5,600 個、12 月 7,400 個

3) 文化活動

- ・音楽教室、ダンス教室共に、教師と連携を取りながら、利用者の個々の状況に合わせた内容を実施出来た。利用者も、楽しんで取り組む姿が多く見られている。
- ・利用者が心身を解放できる場となっており、普段は見られない表現が現れる大切な時間となっている。

①音楽教室

- ・少人数でのグループ毎の実施により、利用者がのびのびと自己表現をする良い機会となっている。また、積極的に参加している場面も多かった。
- ・自ら鳴らす、歌うなど色々な方法で自己表現を行い、どの利用者も楽しめていた。
- ・それぞれの利用者が楽しめる範囲が広がってきていて、充実した活動である。

②ダンス教室

- ・体の硬さが気になる利用者に向けて、教師がストレッチ道具を導入する等、柔軟な対応により様々な内容を実施出来ている。施設内の狭いスペースでも、講師の工夫されたプログラムでどの利用者も楽しんで参加している。近隣でももう少し広いスペースを借りることが出来ると、これまでとはまた違う運動プログラムの実施も期待出来る。

③調理

- ・今年度は一度に全員で行う形で、3 回実施した。施設内と施設外の 2 グループに分かれて実施する流れも、定着してきた。調理の過程やコミュニケーションを楽しみながら、明るい雰囲気を実施出来ている。

- ・食材費が高くなってきており、予算内でメニューを決めるのも簡単にはいかなくなってきている。

4) 年間行事

- ・多くの行事が復活してきて、充実度は増してきている。公共交通機関を利用したイベントもあり、経験の一つとなった（年始の外出等）。
- ・宿泊行事は、昨年度の（1泊2日）経験を踏まえて、5年ぶりに従来通りの2泊3日で実施した。利用者も皆、楽しんで参加していた。個々の事情により参加を見合わせた方々については、それぞれの事情を踏まえて次回の参加に繋がりそうなサポートを考えていく。

3. リスク管理

- ・職員がいつでも内容を確認できるように感染症対策マニュアルを整備し、事務所内にて閲覧出来るようにした。新型コロナウイルスやインフルエンザの罹患者は無く、濃厚接触者に対しては、BCP計画の基で個々の対応を行った。

1) 防災・防犯

- ・年間を通して避難訓練を3回実施した。継続した訓練により、利用者も避難の流れが身についてきている。
- ・自然災害発生時におけるBCP計画の基、広域避難所である平山小学校までの避難経路の確認を、訓練を通して行った。
- ・立川の防災センターでの災害体験に、職員、利用者全員で参加した。実際の地震や煙の体験は事業所内の訓練では出来ない貴重なものであり、今後も何年かに一度は、こうした体験の機会も持っていきたい。

2) 衛生管理

- ・日々ヒヤリハットの確認を行い、意識しながら職員間で連携して対応することができた。傷病に関しては、看護師からの助言や指導に基づいて支援や環境整備を行った。
- ・汚物処理セットの使用方法などを、職員間で改めて確認できる定期的な機会が必要である。また、処理セットの中身の定期的な点検や整備も求められる。

4. 環境の整備

1) 予算

- ・各担当職員が予算を意識しながら行事实施や日々の活動を行うことができた。
- ・年度の途中から、車移動だけの活動を控える事を意識した。それにより、ガソリン費用を抑えることが出来た。

2) 支援態勢

- ・職員数が一定数確保できていたので、手厚い支援を行えることが多かった。
- ・突発的に態勢が厳しい日もあったが、基本は余裕のある態勢で支援を行う事が出来た。
- ・ボランティア等の受け入れも再開はしたものの、なかなか継続したボランティアの獲得は難しいものであった。明星大の学生が、授業でのふらっととの繋がりを通して、

一日ボランティアに参加した。若い世代の雰囲気は職員とはまた違う刺激となって、互いに関わりを楽しんでいた。

- ・ すぐかけサポーターの活動が再開した。サポーターとの関わりを楽しみにしている利用者も多く、大切な関わりの一つとなっている。

3) 給食

- ・ すべての利用者が給食を楽しみにしており、日ごろの会話の中で給食メニューの話題も良く出ている。ほぼ全員が完食出来ていて、残食がない。
- ・ カロリー計算や栄養バランスなどのしっかりとした献立になっている。
- ・ 月1回の業者との給食会議が日々のメニューや味付けなどに活かされていて、よりよい給食提供ができています。
- ・ パーテーションの設置による感染対策を引き続き行いながら、喫食している。

4) 健康管理

①日常の健康管理

- ・ 日々の連絡帳や送迎時の対応、通院報告等により正確な健康状態の把握に努めた。また、日中活動中も利用者の表情や行動を見ながら、適宜職員間で情報共有する様に努めた。
- ・ 引き続き看護師と連携し、利用者への健康管理を行った。
- ・ 表情や行動から、利用者の体調を気に掛けた。
- ・ マスクの着用については、任意の着用へと対策を緩和している。

②その他

- ・ 計画に沿って実施した。
- ・ 健康診断、聴打診を行った。
- ・ 歯科検診に関しては、長年検診を担当していた歯科医師の逝去に伴い、実施は見送られた。その後は歯の健康管理の一つとして、職員による通院同行を主としながらサポートを行っている。
- ・ インフルエンザの予防接種を実施した。
- ・ 気温の変化に留意しながら、水分補給は季節関係なく重視した。
- ・ 冷暖房の調整や加湿器の使用、換気などで施設内環境に配慮できた。

5) 保護者会との連携

- ・ 回覧される保護者会報告書を確認し、議題となっている内容を把握する事が出来た。
- ・ キーパーソン以外の家族全体と施設との関りが持てるような取り組みは、なかなか行うことができなかった。

5. 職員

1) 職員分掌と係り分担

- ・個々の職員の業務量などをお互い確認し合いながら日中の事務時間の確保に努めることができた。

2) 職員会議とケース会議

- ・年間の会議日程に沿って実施し、時間内に円滑に進めることができた。
- ・水曜日に16時降所が増えた為、職員が支援や業務に関して必要な時間を十分にとる事が難しくなっている。職員会議を事業所毎に行うなどして、なるべく時間を確保していけたらと感じる。
- ・ケース会議はもう少し時間を設けた方が良いが、なかなかその時間を確保するのが難しい現状がある。終礼前などの時間も活用しながら、日々継続的に支援の目を向けていく雰囲気づくりが重要である。

3) 個別支援計画とケース記録

- ・個別支援計画の作成や見直し等は円滑に行えた。
- ・安定している利用者の方を中心として、ケース記録に記録が無い空白の日が見られる。引き続き、個々の職員が毎日記録をする意識を持つことが必要である。
- ・利用者自身の意見や要望を、個別支援計画に取り入れられるよう工夫をした。
- ・相談支援事業所と定期的なモニタリングなどを通して連携を深め、利用者へのより良い支援ができるように協力し合えることができた。

4) 研修

- ・法人内の交換研修により、平素とは異なる環境での勤務を経験した。支援や業務に関する新たな視点等、自身の仕事における気づきを持つきっかけとなった。
- ・必須の研修だけでなく、個々の職員が自己研鑽に努める意識を高めていきたい。

6. 関連団体との関わり

- ・加盟団体等（きょうされん、日野市障害者関係団体連絡協議会、日野わーく・わーく、日野市障害者施設職員交流会など）の外部会議に、都度参加をした。
- ・アルファ医療福祉専門学校から、1名の相談援助実習受入を行った。
- ・明星大学福祉実践学科の「地域ニーズ開発」の講義に職員が講演者として参加した。今後の継続的な学生ボランティアの確保や学生の学びの機会…等、様々な関わりが期待される。
- ・きょうされんでは、昨年度に続いて東京支部大会に利用者、職員が直接参加した。
- ・JDF主催の能登半島地震震災支援に、ふらっと職員が3名参加した。

ひまわり（共同生活援助）令和6(2024)年度事業報告書

1. 事業体制

【利用時間】

16:00～翌10:00（水曜は14:00～翌10:00）

〔夕から夜〕帰寮→おやつ→入浴→夕食→自由時間→就寝

〔朝〕起床→身支度→朝食→自由時間→出発

〔休日日中〕起床→朝食→自由時間→昼食→自由時間

〔その他〕◆週半ばでの休日への日中対応および外出企画。

◆家庭の事情や緊急時の週末対応等。

【利用者】

5名（定員5名）

【職員体制】

常勤3名（管理者兼サービス管理責任者兼生活支援員、世話人兼生活支援員）

非常勤9名（夜勤の世話人1名(契約)、夜勤の生活支援員1名、

家事援助の生活支援員7名）

2. 個別支援計画

個々の個別支援計画を具体化し、期間設定のもとに支援をした。保護者会や保護者との個人面談、連絡帳または電話等で、保護者から家庭の様子を窺い、本人の生活全体を捉えて支援に活かす様にした。

〔計画作成(4月・10月)〕

3. 通所施設(バックアップ施設)との連携

すずかけの家、ふらっと・すずかけとの間で、緊急時等に応援の必要な時に、適宜、状況に応じて情報を交換し、相互に連携を図った。週末の緊急対応や土曜日帰宅時の送迎業務などに協力を得られた。

4. 関連機関との連携

医療機関とは、個人情報保護のもとに必要な情報交換をし、適切な医療が行えるよう連携した。保護者が利用者本人を通院させることが困難な場合、もしくは通院支援が必要と思われる場合は、ひまわり職員が通院に付添った。（各利用者に対し、個々に対応する。）1名の利用者が転院のタイミングで訪問診療を新たに利用を始めた。

一部の相談支援事業所とは、利用者の計画相談のモニタリングにおいて、利用者のグループホームでの様子等、情報の共有をし、連携を図った。

5. 職員会議（月1回）

利用者および施設の予定、利用者ケース等の確認と対応の検討を中心に、必要に応じて、ホーム全体の業務内容を見直した。また、感染症や障害者の虐待防止・権利擁護、障害種別の特徴などの職員全体での学習の機会も設けた。

6. 余暇活動、行事

お菓子作り、外出企画等を利用者に適した内容で行い、生活の充実を図った。(水曜午後、休日等)

7. 防災

職員の防災についての意識を高め、利用者が避難の方法に慣れるようにする。全員が緊急時(火事、地震等)に適切に行動できるように訓練を行った。

〔ホームでの避難訓練(年2回)、防災設備点検(年2回)〕

※設備機器の扱いを重視した防災訓練を1回(5月)

自然災害BCPに基づく訓練が1回(3月)

8. 研修

利用者支援への職員の意識や技術を高める為に、外部研修への参加、職員会議での学習などを行った。都加算を受ける前提条件の一つにもなっている。

〔※虐待防止・権利擁護研修(9月)、日野市GH従事者虐待防止研修(2月)など〕

9. 保護者会

保護者の意見や家庭の様子を聞き、ホームでの様子を伝えながら、情報交換を行った。保護者同士、相互に交流し、意見や感想等が様々に出された。(1月)

〔総括〕

- ・通常の事業運営としては、引き続き土曜日9時までの利用受け入れを行い、家族の負担軽減を図るとともに、新たな取り組みとして4月より帰宅時に送迎を実施することとした。
- ・利用者に対する趣味等の個別の企画の実施はできなかったが、週半ばでの休日を利用しての外出活動〔いちご狩り〕を行った。
- ・感染予防を理由として、数年前より始めた各居室を中心とした生活と食事時間の分散化は利用者にも定着して、引き続き利用者間のトラブルの減少に繋がっている。
- ・施設内のインターネット環境の充実を図り、各居室でインターネットを利用できる環境を整えた。
- ・事故関連としては、5/25(土)深夜に利用者の頭部裂傷のケガがあった。
また、特定利用者が施錠対策を設置していなかった火災時の避難用ドアや2階玄関上部窓から外に出してしまう事案が数回発生したので、7月に後援会から寄附を頂き対策工事を行った。
- ・事業運営上でひまわり開設からの課題であった365日事業運営に向けて、2月にすずかけの家から正規職員の人事異動を行い、3月より日曜日15時までの利用受け入れの拡大を行った。このことにより365日事業運営に向けて本格的な検討を進められることとなった。
- ・11月に運営指導が入り、指摘を受けた事項については1月に改善報告書を提出した。
加算の返還については、市の担当課と協議を継続中。